

2015年度(平成27年度)センター試験利用入試・一般入試における「数学」「理科」に関する
旧学習指導要領に基づく教育課程履修者(平成26年3月以前の高校卒業生)への
経過措置について

2015年度(平成27年度)センター試験利用入試および一般入試において、「数学」「理科」については原則として新学習指導要領に基づく出題としますが、旧学習指導要領に基づく教育課程履修者(平成26年3月以前の高校卒業生)に対しては単年度限りの経過措置として下記の対応をいたします。

1. センター試験利用入学試験(前期・後期)

「数学」については、旧課程履修者に対し下記の経過措置を実施する。

「数学」を選択できる学科において、「数学」を受験する際には、

- (1) 「数学 ・ 数学A」(新課程)または「旧数学 ・ 旧数学A」(旧課程)
- (2) 「数学 ・ 数学B」(新課程)または「旧数学 ・ 旧数学B」(旧課程)

のいずれかを受験すること。両方受験した場合は得点の高い科目を優先する。

「理科」については、旧課程履修者に対し下記の経過措置を実施する。

「理科」を選択できる学科において、「理科」を受験する際には、

- (1) 「物理」(新課程)
- (2) 「化学」(新課程)
- (3) 「生物」(新課程)
- (4) 「地学」(新課程)
- (5) 「物理」(旧課程)
- (6) 「化学」(旧課程)
- (7) 「生物」(旧課程)
- (8) 「地学」(旧課程)

のなかから、学科が選択可能とする科目を受験すること。

例えば学科が新課程の[「化学」「生物」]を選択可能としていれば、旧課程の[「化学」]「生物」]も
選択可能とする。(平成26年5月28日追加)

2科目受験した場合は第1解答科目を優先する。

(ただし新課程と旧課程の科目の両方を受験することはできない)

なお、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は選択できないので注意すること。

2. 一般入学試験(期・ 期)

「数学」については新課程履修者と同様とするが、出題においては、新課程履修者と旧課程履修者の両者が公平に解答可能な問題とする。具体的には下記の通り。

- ・「数学」は大問数4題とする。必須問題として「数学」より大問を2題、選択問題として「数学」「数学A」「数学」「数学B」それぞれ1題ずつの大問から2題を解答する形式とする。
- ・「数学A」は、「場合の数と確率」か「図形の性質」のいずれかの範囲から出題。
- ・「数学B」は、「数列」か「ベクトル」のいずれかの範囲から出題。

「理科」については新課程履修者と同様とするが、出題においては、新課程履修者と旧課程履修者の両者が公平に解答可能な問題とする。